

台湾開発の車種を東南アジアや中国でも活用

トヨタ自動車、日野自動車及び台湾の和泰汽車等の合併会社である国瑞汽車(股)は、1984年に設立され、現在、台湾でカムリ、カローラルティス、ヴィオス等の生産を行っている。国瑞汽車の昨年の生産は約10.5万台となり、過去最高の生産台数となった。2002年には研究開発センターを設置し、台湾市場に投入する新型車の開発設計を行っており、国瑞汽車が設計したモデルは東南アジアや中国でも活用されている。今回は国瑞汽車の横濱孝志総経理に当社の活動概要や台湾自動車産業の展望についてお話を伺った。

国瑞汽車(股)
横濱孝志総経理



カムリ、カローラルティス等を生産

トヨタ自動車、日野自動車及び台湾の和泰汽車等の合併会社である国瑞汽車(股)は、1984年に設立されました。中壢市の中壢工業区内に本社工場及び研究開発センターを構えている他、桃園県の観音工業区にも工場を設置しています。現在、従業員数は日本人駐在員25名を含む、合計約2,800名です。

中壢工場と観音工場はそれぞれ8万台/年及び4.5万台/年の生産能力を有しています。中壢工場では乗用車のカムリ及びカローラルティスを、観音工場では乗用車のヴィオス、商用車のゼイス、ハイエース、及び中大型トラックのダイナ等を中心に生産しています。

台湾におけるトヨタブランドの自動車の販売は、和泰汽車が担当しています。国瑞汽車と和泰汽車は、かつてのトヨタ自工とトヨタ自販のような関係といえます。和泰汽車は国瑞汽車の生産する自動車の販売を行う他、レクサスブランドの輸入販売等も行っていきます。昨年の登録販売台数(輸入販売台数を含む)は約10.2万台となり、2年連続10万台を突破しました。

2002年に研究開発センターを設立

国瑞汽車は以前から技術部門を有していましたが、2002年、新たに中壢の本社工場の敷地内に研究開発センターを設立しました。当研究開発センターは技術部門に約100名、生産技術部門に約60名のエンジニアを擁しています。現在、台湾で販売しているカムリ、カローラルティス等は、当研究開発センターで専用部分の車両開発、市場への適合、現地コンポーネント開発を行いました。

台湾に研究開発センターを設置したのは、台湾市場に投入する新型車の開発設計を行う際に、台湾ユーザーのニーズをタイムリーに取り込んでいくためです。トヨタグループでは、世界統一品質を実現するため、基本部分の開発は本社が担当していますが、台湾ユーザーの嗜好は現地でなければつかみ難いため、スタイルや内装の設計に関しては台湾の研究開発センター主体で行っています。

国瑞汽車研究開発センターでは、これまで、2001年にカローラルティス、2002年にカムリ、2004年のウィッシュと、毎年新型車の開発設計を行ってきました。ここ数年の台湾における好調な販売は、

日本企業から見た台湾

この新車効果によるところが大きいと考えています。今後も、お客様に感動いただける商品の開発に積極的に取り組んでいきます。

台湾開発の車種を東南アジアや中国でも活用

国瑞汽車研究開発センターが開発設計した車種は、台湾市場に投入するのみならず、東南アジアや中国におけるトヨタグループの拠点でも活用しています。例えば、天津トヨタで生産しているアルティスは、当研究開発センターが中心となり設計を行ったものです。また広州で生産開始を予定しているカムリも、台湾で開発したモデルを活用する予定です。

台湾で開発したモデルを東南アジアや中国でも活用するのは、台湾のユーザーに受け入れられる「華人テイスト」は、一般的に、東南アジアの華僑や中国の人々にも受け入れられやすいからです。例えば、台湾のユーザーは高級感のある仕様を好むため、国瑞汽車では乗用車に革張りシートを標準装備していますが、このような「華人テイスト」は他の華人圏のニーズとも共通点が多いと考えています。

この他、国瑞汽車はトヨタグループの中国進出を人材面から支援することも期待されています。国瑞汽車の台湾人スタッフは、中国語と日本語に堪能なだけでなく、トヨタの生産方式にも慣れ親しんでいる貴重な戦力です。現在、台湾からマネジメントや現場管理の人材を派遣することを予定していますが、国瑞汽車の台湾人スタッフに対しては、トヨタ本社からも強い期待が寄せられています。

多様化する台湾消費者のニーズに対応

台湾における自動車総市場は、2001年には35万台を割り込みましたが、2002年39.9万、そして昨年は41.4万と回復傾向です。今後、良好な景気の状態が続けば、且つ道路や駐車場等の交通インフラ

や社会インフラが充実すれば、市場が拡大する可能性もありますが、基本的には台湾の自動車市場は既に成熟市場に達していると言えます。

このような成熟市場では、消費者のニーズは多様化します。例えば、これまで台湾ではセダン一辺倒でしたが、最近ではRV車の市場が急速に拡大しており、台湾の自動車市場におけるRV車の比率は2割近くにまで達しています。

国瑞汽車も台湾におけるRV車需要に対応するため、現在、ミニバン「ウィッシュ」の開発を進めており、今年9月からの生産開始を予定しています。今後も、台湾ユーザーのニーズを設計段階から取り込んだ新型車開発を行うことにより、台湾の多様化するニーズに対応していきたいと考えています。そして、台湾の業界全体が互いに切磋琢磨して発展すれば素晴らしいことだと、考えています。

台湾自動車メーカーの販売台数とシェア(2003年)

企業名	提携企業名	販売台数(台)	シェア(%)
国瑞	トヨタ	100,625	27.3
中華	三菱	87,708	23.8
福特六和	フォード	67,857	18.4
裕隆	日産	66,203	18.0
その他		45,823	12.5
合計		368,216	100.0

(出所) 車両公会を基に野村総合研究所

